

さいたま水上公園のあり方検討委員会

概要版

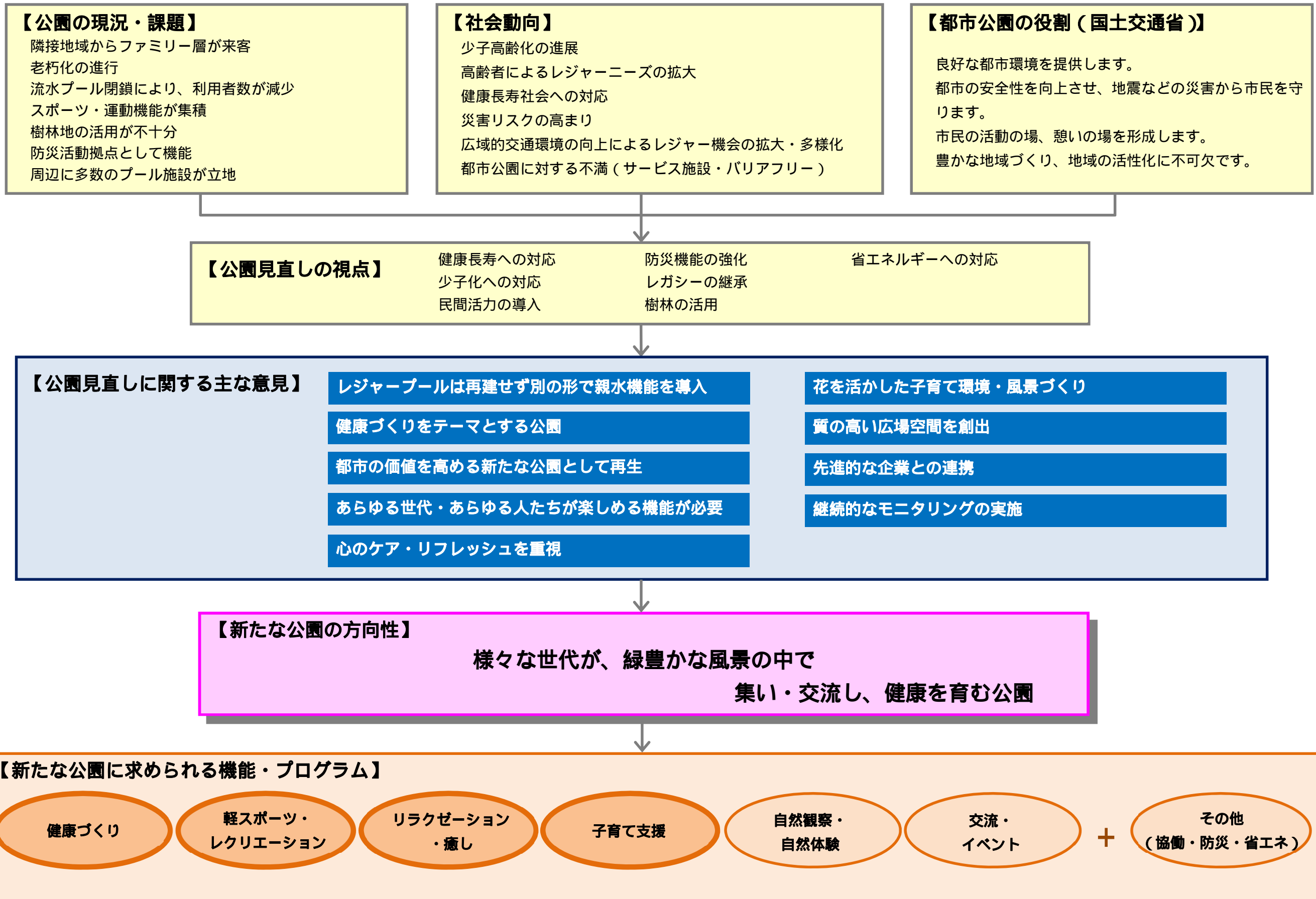
- 目 次 -

1. 公園を取り巻く現況と新たな公園に求められる機能とプログラム	1
2. 導入機能・施設イメージ	
(1) 主要機能と施設例	2
(2) 主要機能の展開イメージ	3
3. さいたま水上公園のあり方	4
さいたま水上公園のあり方のイメージ	5
空間づくりに向けた配慮事項の抽出	6
【参考】整備手法の検討	7
公園関連PFI事業の事例	8
整備・運営手法検討時の留意点	9

平成28年 3月

埼玉県都市整備部

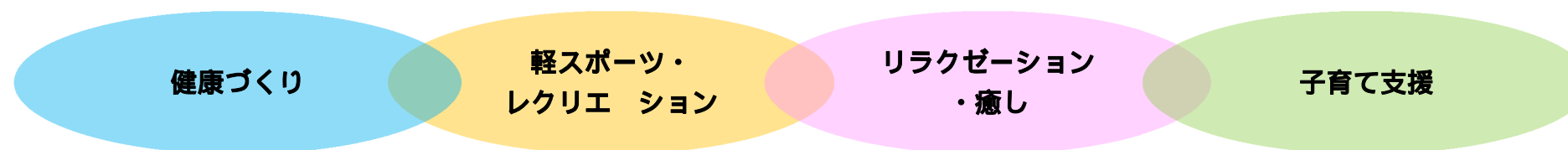
1. 公園を取り巻く現況と新たな公園に求められる機能とプログラム



2. 導入機能と施設イメージ (1) 主要機能の展開と施設例

新たな公園に求められる核となる4つの機能、「健康づくり」、「軽スポーツ・レクリエーション」、「リラクゼーション・癒し」、「子育て支援」についての展開の方向性は以下のとおり。

【新たな公園に求められる主要機能】



【主要機能の展開】

健康づくり

自由に利用できるフレキシブルなフロアで、健康づくり機能を充実

- ・フレキシブルな使い方が可能なフロア構成のクラブハウスでは、各種の健康づくりプログラムを展開する。
- ・プログラムは、専門性のある指導員や指導員の講習を受けたものが中心となり、若い世代の体力づくり、中高年の生活習慣病予防、高齢者の健康寿命の維持など様々なステージに応じた幅広いメニューを提供し、開催時間帯等を工夫して多様な利用者に対応できるものとする。

<施設例> クラブハウス

芝生広場や樹林地で多世代が楽しめる健康づくり機能を充実

- ・芝生広場や樹林地は、屋外空間の心地よさを生かした多様な健康づくりプログラムを展開する。また、親しみやすい軽スポーツ等のレクリエーション空間として多目的な利用に対応し健康づくり機能を充実する。

<施設例> 芝生広場 疎林広場 園路空間 等

軽スポーツ・レクリエーション

健康づくり・スポーツ機能を充実

- ・陸上競技場や武道館、アイスアリーナなどの集積を活かしながら、スポーツを含む健康づくり機能の一層の充実を図り、一体的にスポーツ・健康づくりのメッカとしての機能を高める。
- ・水上公園の健康面でのレガシーとして、水を活かした健康づくり機能を充実する。

<施設例> 人工芝広場：サッカーやソフトボールなどの球技、フィールドを活用したスポーツスクールや健康づくり活動等に対応する施設
屋内プール：健康づくりに効果的な水中運動及びレクリエーション、スポーツとしての水泳に対応する施

親水機能を継承

- ・舗装面から噴水が噴き出すなどの水遊びのできる広場を導入し、水上公園の記憶を継承するとともに、イベントの開催など多用途に利用できる機能を備える。

<施設例> にぎわい広場（噴水・イベント）

リラクゼーション・癒し

感性を豊かにする癒し空間を演出

- ・緩やかに起伏する芝地、草花や樹木を活かした園路沿いのガーデンなど、人間の感性に訴えかける空間・景観演出を施し、ストレスの解消やリフレッシュ効果の高い「心の健康づくり」機能を充実する。

<施設例> エントランスガーデン等の公園内に点在するガーデニング空間
ピクニック広場（樹木が点在し、ゆっくり過ごすことができる芝生広場）

食、リラックス空間を提供し、健康づくり機能を充実

- ・樹林地やガーデニング空間、芝生広場に面して、健康に配慮した食事や気持ちの安らぐ空間を提供し、心と体の健康増進機能を充実する。
- ・屋外やテラスなどで地元食材を体験できる、気軽にパーティーを催せるなど、食を活かしたレクリエーションや交流の場を展開する。

<施設例> カフェレストラン キッチンカー

ファミリー層のニーズに応える魅力的機能を導入

- ・健康づくりに偏ることなく、ファミリー層などが公園に親しみ、交流を育むことができるよう、子育て世帯にとって魅力のあるアトラクションを導入する。

<施設例> 大型遊具：ふわふわドームなどの子供達に人気の遊具施設

子育て支援

快適な樹林環境へ転換し、体験・学習等の場、子育て支援の場として活用

- ・樹林地は、林業経験者やボランティア等を活用しながら、林床の明るい快適な植生への転換を図り、世代間交流等の機能を充実する。
- ・樹木の更新など、長期的な樹林環境の変化を踏まえながら、自然学習・体験、創造的な遊びの場などに樹林地の活用を図り、学習機能を充実する。
- ・芝生広場から樹林地への環境の中で、プレイリーダーとともに子供達が冒険的な遊びができる空間とし、子育て支援機能を充実する。

<施設例> 体験の森 子ども冒険広場（プレイパーク）

(2) 主要機能の展開イメージ

健康づくりの展開イメージ

<p>自由に利用できるフレキシブルなフロアで、健康づくり機能を充実</p> <p>例 - クラブハウス</p>	 <p>デイケアサービス (アシックス「トライアス」HPより)</p> <p>+10分エクササイズ (健康ひょうご21県民運動ポータルサイトより)</p>
<p>芝生広場や樹林地で多世代が楽しめる健康づくり機能を充実</p> <p>例 - 芝生広場の利用メニュー</p>	 <p>運動広場 (武蔵丘陵森林公園)</p> <p>パークヨガ (東京ミッドタウン)</p>
<p>例 - 疎林広場・園路空間での健康プログラム展開</p>	 <p>パークで筋トレ (足立区)</p> <p>ノルディックウォーキング (七沢森林公園)</p>

軽スポーツ・レクリエーションの展開イメージ

<p>健康づくり・スポーツ機能を充実</p> <p>例 - 人工芝広場</p>	 <p>小牧パークアリーナ</p> <p>石川河川公園</p>
<p>例 - 屋内プール</p>	 <p>プールフィットネス</p>
<p>親水機能を継承</p> <p>例 - 噴水(イベント)広場</p>	 <p>浜名湖ガーデンパーク HPより</p>

リラクゼーション・癒しの展開イメージ

<p>感性を豊かにする癒し空間を演出</p> <p>例 - ピクニック広場</p>	 <p>昭和記念公園</p> <p>アウトドアウェディング</p>
<p>例 - 林間の花畑、テーマ性のあるガーデニング空間 林間をめぐる快適でバリアフリーな散策路</p>	 <p>ひたち海浜公園</p> <p>猪苗代ハーブ園</p> <p>多摩平の森</p>
<p>食、リラックス空間を提供し、健康づくり機能を充実</p> <p>例 - カフェレストラン</p>	 <p>スターバックスコーヒー (上野恩賜公園)</p>

子育て支援の展開イメージ

<p>ファミリー世代が楽しめる魅力的機能を充実</p> <p>例 - 大型遊具 (ふわふわドーム)</p>	 <p>武蔵丘陵森林公園</p>
<p>快適な樹林環境へ転換し、体験・学習等の場、子育て支援の場として活用</p> <p>例 - 樹林地の移ろいを活かしたアクティビティの展開</p>	 <p>樹林を活かしたアトラクション (フォレストアドベンチャーHPより)</p> <p>羽根木公園プレーパーク</p>

3. さいたま水上公園のあり方

社会情勢等の変化に対応する将来の「さいたま水上公園のあり方」として、再生に向けた基本的な方針を以下のとおりとする。

心と体の健康を育む多様なプログラムを展開

- ・レジャープール機能からの転換を図り、心と体の健康を育む機能を充実する。
- ・屋内運動施設や広場、ウォーキング・ジョギングコースなど公園内の様々な施設を活用し、心と体の健康づくりを支援する陸上・水中プログラムを展開する。
- ・健康長寿埼玉プロジェクトと連動するほか、様々な世代やハンディキャップのある人たちも参加できる、多様なプログラムを展開する。
- ・健康関連企業等と連携し、公園に関わる新たなライフスタイルの提案や先進的なプログラムを開発・展開するなどし、成功例を他公園へも普及・促進を図る提案型の運営を目指す。

水上公園の記憶を留め、四季を通じて楽しめる親水機能を導入

- ・水上公園のかつての賑わいを思い起こさせる、子どもたちが元気に遊ぶことのできる親水施設を導入する。
- ・親水施設は夏季限定の稼働に留まらず、四季を通じた景観効果やイベント広場としての転用等に対応できるよう、多機能型の施設として計画する。

親子で安心して、のびのびと遊べる子育て環境を導入

- ・子どもが安心して自由に遊べる様々な場所・施設を配置し、ファミリー層にも魅力ある公園とする。
- ・大径木の多い樹林地を活用した自然との触れ合いや自由に創意工夫できる遊び場など、子どもの創造性を育む場を導入する。

心を癒し、都市を彩る感性の高い景観を創出・活用

- ・園路沿いを彩る季節感豊かな草花、ゆるやかに起伏し美しい芝地など、心を癒す感性の高い植栽・景観計画を行う。
- ・樹林地やガーデンなどの環境・景観を生かした休憩施設や飲食施設など、訪れた人々が心豊かな時間を過ごせる魅力スポットを導入する。
- ・SNS等による広報効果を活用できるよう、花等を生かした景観を背景としたイベントの開催など、都市の魅力を発信するプログラムを展開する。

県民が一度は訪れてみたいと思う魅力を導入

- ・この公園ならではの、1度は体験してみたいと思わせる魅力的で話題性のあるオリジナリティを導入・展開する。
- ・ファミリー層に魅力的な大型遊具や親水空間、健康づくり・スポーツ拠点機能の強化、樹林地を活用したアクティビティーなど、この公園の特色を生かしながら、他公園にはない魅力づくりにより差別化を図る。

野外活動・遊び場等として樹林地を活用

- ・大きく育った樹林を生かしつつ、間伐や下草刈りなどを施し、明るい樹林地環境への転換を図る。
- ・林地の更新・維持管理には、ボランティア等を活用し、協働型の環境整備を展開する。
- ・樹木の成長度合いなどを踏まえた林地の利用適性に応じ、野外活動や森を生かした遊び場等として活用する。

時代の要請に配慮した公園計画に対応

インクルージョン（ ）

- ・施設計画においては、あらゆる人々が不自由なく公園を利用できるようユニバーサルデザインに対応する。
- ・様々な人々が参加でき、ふれあいや交流が育まれるようなプログラムやイベントを充実する。

モニタリング

- ・利用者のニーズを定期的に把握し、調査結果から見える課題に適切に対応する。
- ・健康づくりプログラムの効果を検証するため、継続的なメディカルチェックを実施するとともに、そのデータを参加者の健康管理に活用する。

協働

- ・公園の維持管理・運営において、企業やNPO、ボランティアなど民間活力の積極的な活用を図る。

防災

- ・公園の再生にあたっては防災活動拠点としての機能の維持・充実に対応する。

省エネルギー

- ・公園施設には省エネルギーや新エネルギー等の設備を積極的に導入する。

インクルージョン：包括。包含。近年では、誰もが対等な関係で関わり合い、社会や組織に参加できる、多様性を許容する新しい社会のあり方を示す概念として用いられている。

さいたま水上公園のあり方のイメージ



『健康プログラム活動やくつろぎのイメージ』 - 毎日がウェルネス -
～健康をテーマとした「食」や様々な「運動プログラム」による特色のあるサービスを展開～



『時を忘れ家族・友人と楽しむにぎわいのイメージ』 - 水が織り成すエンターテイメント -
～夏場のにぎわいを演出、イベント時には噴水の水の動き・光・音を合わせた優美さ等を四季に合わせ展開～



『季節の移ろいを五感で感じる癒しのイメージ』 - 全ての人を楽しみ、参加する -
～木漏れ日の「ヨガ教室」と「ノルディックウォーキング」
公園の四季を彩る「ガーデニング活動」や写真撮影など、利用者が思い思いの交流を展開～



『偉大な大樹とのふれあい、たおやかな木々に包まれたやすらぎのイメージ』 - 緑の継承と活用 -
～大樹の回廊でゆったりとした時間を過ごす森林浴や、自然の偉大さ、
一体感を感じるアクティビティー、市街の森の中で人と自然の共生を展開～

空間づくりに向けた配慮事項の抽出

さいたま水上公園の再生に向け、良好な空間形成を図るため、「さいたま水上公園のあり方」を補完する配慮すべき事項は以下のとおり。

自由度の高いスケルトンインフィルな施設計画（重層的利用）

- ・特定の競技やプログラムを対象とする専用施設に偏ることなく、様々な利用形態（重層的利用）に対応可能な自由度の高い施設を主体に構成する。
- ・施設の骨格構造をしっかりと構築し、細部は時代の変化に応じて更新できるよう、スケルトンインフィルな施設計画に留意する。

ユニバーサルデザインに対応

- ・高齢者や子ども、ハンディキャップのある人など、公園利用者全員が不自由なく公園・施設を利用できるようユニバーサルデザインに対応する。
- ・様々な年代の利用者、特に小さな子供達や車いす利用者のアイレベルを意識し、利用者それぞれが自分のスタイルで楽しめる空間作りに留意する。

癒し効果の高い、絵になる景観演出

- ・園路沿いや広場回り、樹木の足元にアイレベルを意識した様々な丈の草花（ルピナス、ラベンダー、クロッカス等）を効果的に配置するなど、「彩り」「香り」「触れる」などの五感にも配慮した、癒し効果のある感性の高い景観づくりに留意する。
- ・SNSなどによる広報効果を積極的に活用できるよう、写真や絵にしたいと思わせるような景観スポットを創出する。
- ・この公園で運動したい、お茶をしたいと思わせる景観やシチュエーションを意識した空間とする。

質の高い芝生広場の多用途利用に対応

- ・芝生広場には起伏を持たせ、所々に樹木植栽を施すなど、人々が心地よく過ごせるスケール感や景観的な変化に留意し、単調で均質な空間としない。
- ・静かな活動を対象とする芝地は質の高い維持管理を施し、利用頻度の高い活動的な場には人工芝を検討するなど、場に応じた設え、管理方法等を検討する。
- ・公園という屋外空間を利用する上では、降雨時のイベント利用についても意識した施設計画とする。

明るい樹林環境への転換

- ・密度の高い樹林に対し間伐や下草刈りなどを施し、明るい樹林環境への転換を図る。

メインアプローチ空間の演出

- ・駐車場へのアプローチ道路は、公園へのメインアクセスとして印象的な景観演出に留意するとともに、快適な歩行者・自転車空間を確保する。

東西空間の連携の強化

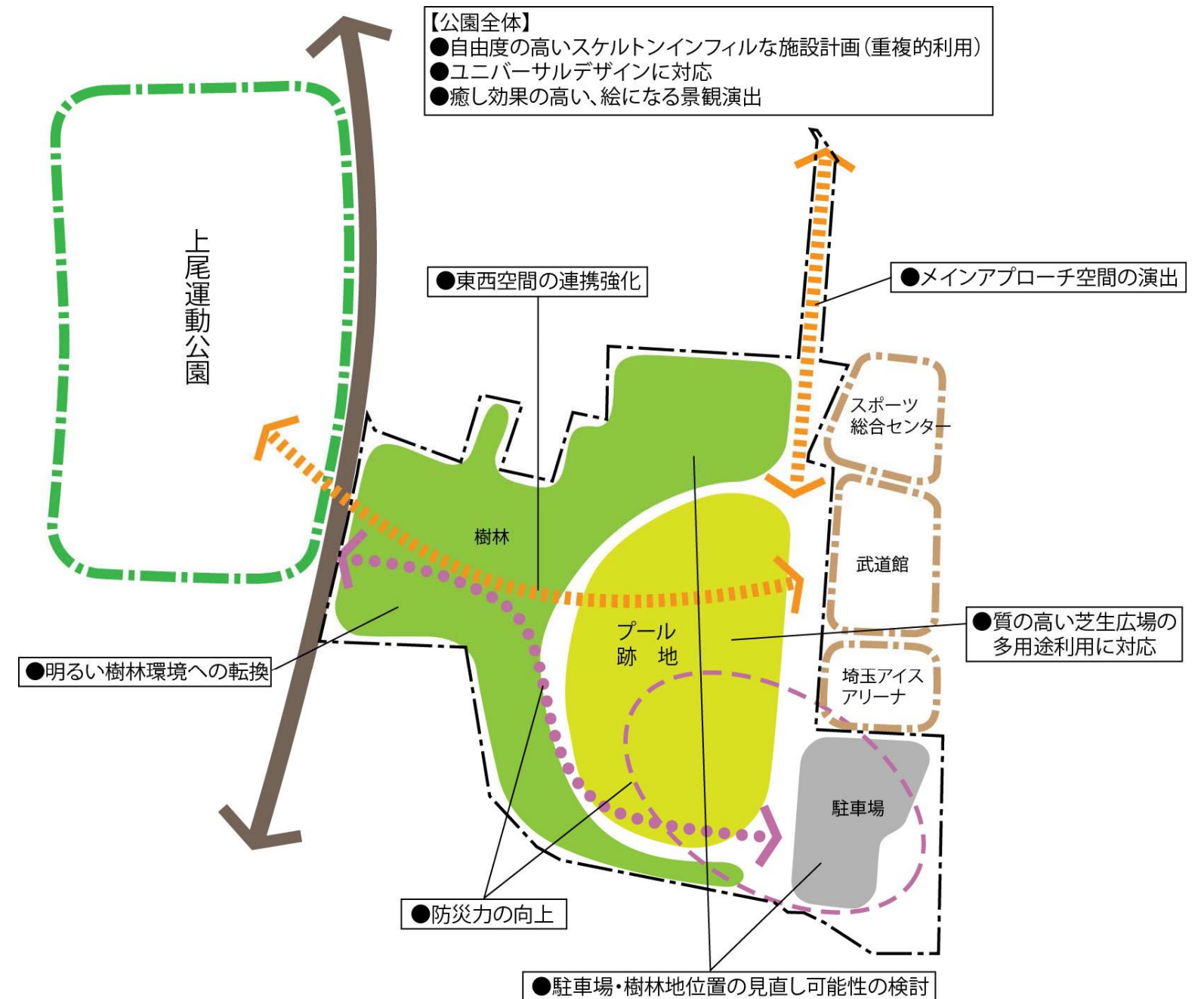
- ・国道17号沿いに明るいエントランス広場を設けるとともに、陸上競技場～計画対象地～武道館・アイスアリーナを結ぶホスピタリティーの高い快適な歩行者空間を確保する。

防災力の向上

- ・国道17号から防災活動拠点に指定されている駐車場へアクセスする防災車両進入ルートを検討する。
- ・駐車場との連携のほか、防災活動を展開しやすい広場を検討する。
- ・川沿いの立地に留意し、洪水に対する防災性の向上についても検討する。

駐車場・樹林地位置の見直し可能性の検討

- ・奥まった立地の駐車場の位置や既存樹林の位置を見直すことによる、アクセスや防災面における改善効果について検討を試みる必要がある。



【参考】整備手法の検討

今後、施設の整備にあたっては、より低コストで質の良い公共サービスが提供されるよう、民間事業者との積極的な協働・連携手法も活用していく必要がある。

都市公園における民間事業者の参画手法には、都市公園法に基づく設置許可制度、管理許可制度、地方自治法に基づく指定管理者制度、PFI法に基づく幾つかの方式があり、各制度には、管理のみのもの、整備・管理を一体的に行うものなどそれぞれの特徴は以下のとおりである。

各案導入施設で想定される事業化手法を例示すると以下のとおりであるが、施設の特性等によって事業手法を個別に設定するのではなく、一体的に一括の事業手法で行うことも考えられる。

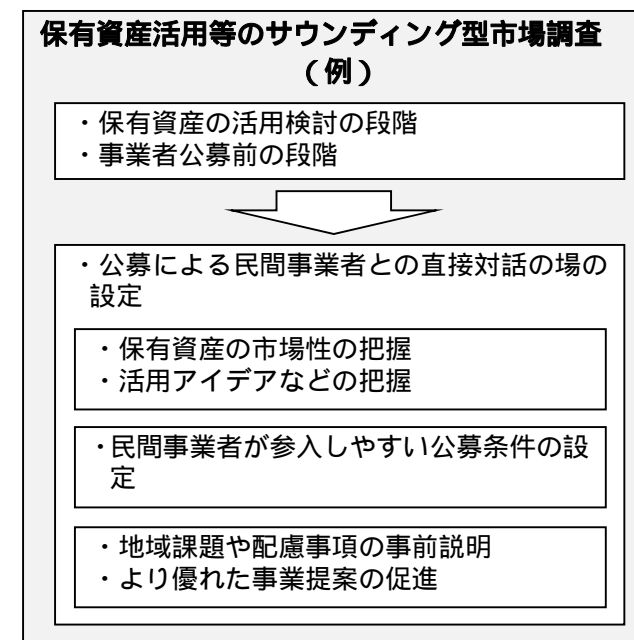
これまで行政では、民間事業者に対する事業提案の公募・事業者の選出に際し、保有資産の活用方法や公募条件について、行政内部のみの検討で設定してきたが、事前に民間事業者の意向を把握する「サウンディング

型市場調査」が広がってきており、当該計画の検討においても、民間事業者の意向を把握するなどの取り組みを進めつつ、適切な事業手法による整備・維持管理・運営の検討が必要である。

また、民間から事業資金を調達する手法として、「クラウドファンディング」、「ネーミングライツ」などが考えられ、公費の抑制手法として導入の可能性も検討していく。

近年、企業のCSRの取り組みも広がりを見せており、都市公園の管理運営において多業種の企業がグループを組織し、運営資金や資機材の寄付や運営の協力をする例もみられる。企業が整備・維持管理・運営に参画しやすい枠組み、内容を企業と共に検討することも必要である。

制度・方式名称	設置許可制度	管理許可制度	指定管理者制度	PFI事業			
				BTO方式	BOT方式	BOO方式	
民間業務範囲	設置 保有 管理	管理	管理	建設 移管 管理	建設 管理 移管	建設 保有 管理	
根拠法等	都市公園法		地方自治法	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律			
	都市公園法第五条	都市公園法第五条	地方自治法第244条の2第3項				
公園施設の設置、建設		-	-				
管理	公園全体の包括的管理	-	-				
	公園施設の管理						
手続	議会の議決	-	-				
	公園管理者の許可						
備考	飲食店等の公園施設の設置・管理を民間に委ねる場合、花壇等の公園施設の設置・管理をNPO等に委ねる場合		公園全体の管理を民間等に利用料金の収受を含めて包括的に委任する場合	法的権能が付与されるものではないため、利用料金を民間の収入として管理運営資金に充当するような場合は、別途指定管理者制度又は設置管理許可制度を適用することが必要となる。		法的権能が付与されるものではないため、独立採算で経営する施設は設置管理許可制度を適用する必要がある。	
事例	【富岩運河環水公園(富山市)】:富山県が飲食店を設置・管理する民間事業者を公募し、スターバックスコーヒーが出店	【豊砂公園(千葉市)】:イオンモール(株)が千葉市から管理許可を受けてイベントの開催や利用調整等を実施	埼玉県においても、各県営公園等で実施中	【まほろば健康パーク(浄化センター公園)(奈良県)】:総合評価一般競争入札を経てPFI手法によるBTO方式で整備。平成26年7月オープン。サービス購入型。プール、健康増進施設等。	【こもれび山崎温水プール(鎌倉市)】:公募型プロポーザル方式を経てPFI手法によりBOT方式・ジョイント・ベンチャー型で整備。平成17年2月開業。(都市公園内ではない)	【神奈川県立湘南海岸公園(藤沢市)】:公募型プロポーザル方式を経てPFI手法により、水族館をBOO方式・独立採算を主体としたジョイント・ベンチャー型、体験学習施設をBTO方式・サービス購入型で整備。平成16年2月開業。	
各案導入施設で想定される事業化手法(例)	考え方(例)(:整備及び管理、:管理のみ)	例)収入が想定される施設における設置許可制度の活用(関連部分の一括管理)	例)ボランティア等による管理が想定される範囲に管理許可制度を活用	例)施設全体の包括的な管理・運営	例)サービス購入型施設、公園的空間について初期投資を支援するためBTO方式を想定	例)サービス購入と独立採算の中間的なジョイントベンチャー的施設についてBOT方式を想定	例)独立採算型が望ましい施設についてBOO方式を想定
	クラブハウス						
	カフェ・レストラン						
	屋内プール						
	芝生広場(レクリエーション広場)						
	芝生広場(ピクニック広場)						
	人工芝広場						
	にぎわい広場						
	子供冒険広場						
	体験広場						
エントランスガーデン・疎林ガーデン							



サウンディング:打診、測定、調査等

民間からの資金等調達手法

名称	概要
クラウドファンディング	インターネットを通じ、賛同する事業に対し小口資金を調達する手法。出資者が対価を得ない「寄付型」、完成品の購入対価として出資する「購入型」、出資比率に応じ配当を受ける「投資型」があるが、利潤追求を主目的としない公共事業においては、寄付型が一般的と考えられる。鎌倉市では観光ルート板の整備に活用し、寄付者の名前をルート板に刻んでいる。
ネーミングライツ	民間企業等に公共施設の命名権を付与し、対価として資金調達する手法。スタジアム等のスポーツ施設において多くの実績があり、宮城県や南アルプス市では公営公園において導入している。
CSR	企業の社会貢献活動。大阪府の泉佐野丘陵緑地では、運営協議会による参加型の整備を進めており、大手企業54社によるグループが、年間2千万円を10年間提供する確認書を結んだほか、ヤンマー(株)からバックホウなど、(株)淀川製鋼所から倉庫などの寄付を受けている。

公園関連 P F I 事業の事例

公園関連の P F I 事業の事例

公園や健康・スポーツ施設等の整備や管理運営における P F I 事業の実績は下表のとおり。

自治体	事業名	事業方式	選定方式	事業者選定	代表企業
神奈川県	神奈川県立湘南海岸公園海洋総合文化ゾーン施設整備等事業	BOO/BTO	公募プロポーザル	H13.10.12	オリックス・グループ
横須賀市	長井海の手公園整備等事業	BTO/BOT	総合評価一般競争入札	H15.6.20	(株)ファーム
兵庫県	尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設整備事業	BTO	総合評価一般競争入札	H15.9.9	近畿菱重興産(株)
北海道	道立噴火湾パノラマパークビジターセンター等整備運営事業	BTO/BOT	総合評価一般競争入札	H16.2.17	清水建設
川越市	なくわし公園温水利用型健康運動施設等整備運営事業	BTO	総合評価一般競争入札	H22.7.9	大和リース株式会社
奈良県	新県営プール施設等整備運営事業	BTO	総合評価一般競争入札	H23.6.30	(株)奥村組
茅ヶ崎市	(仮称)柳島スポーツ公園整備事業	BTO	総合評価一般競争入札	H26.9.9	亀井工業ホールディングス株式会社
北九州市	北九州市スタジアム整備等 PFI 事業	BTO	総合評価一般競争入札	H26.7.15	(株)九電工
川西市	川西市市民体育館等整備に伴う PFI 事業	BTO / RO	総合評価一般競争入札	H26.9.26	美津濃株式会社
神栖市	神栖中央公園防災アリーナ(仮称)整備運営事業	BTO	総合評価一般競争入札	H27.10.19	清水建設株式会社
上石高原町	上石高原町仙養ヶ原森林公園整備事業	BTO	公募プロポーザル	H26.6.19	株式会社神石高原ティアガルテン
宇治市	(仮称)宇治川太閤堤跡歴史公園整備運営事業	BTO	公募プロポーザル	未	

自治体 P F I 推進センター H P より

整備・運営手法検討時の留意点

今後、より具体的な整備・運営手法を検討していく上での留意事項は以下のとおり。

調和のとれた施設建設・整備の誘導

・いくつかの民間事業者において、施設を個別に整備する場合には、公園計画との整合や景観を含む全体的なデザインとの調和が保たれるよう、建築計画や植栽計画などの各段階において、県等が総合的に調整するしくみを検討する。

若い世代の参画を促す工夫

・公園に親しむ機会が少なくなっている中高生など、若い世代の参画を促すことも、公園の魅力を高め、来園者層を広げる上で効果的と考えられる。
・新たな来園者層の開拓に向け、中高生などが主体的に企画・運営に携わる交流・物販などのイベントの開催や公園・スポーツに関連する商品企画などへの参画、女性向けのマーケティングの展開など、若い世代・女性の感性を取り込めるよう公園の積極的な活用を検討する。

多様な利用形態に対応した柔軟な運営方式の検討

・効率的な公園運営を実現するために、埼玉県公園緑地協会や民間事業者のノウハウを積極的に取り入れる。その上で、公園内で維持管理事業者が異なる施設が共存する場合には、多様な利用形態に対応できるよう、また、公園の魅力が相乗的に発揮されるよう相互協力する体制を検討する。
・物販、飲食など民間事業者が得意とする分野においては、できるだけ自由度の高い運営を可能にするなど、現場が生き生きと活動できる環境づくりに努める。

民間事業者が力を発揮できる体制づくり

・民間事業者との協働には、当公園の再生コンセプトや運営方針等における先進的な姿勢が評価され、公園の知名度を上げることが重要であることから、企業等との対話などを通じ、より具体的に魅力的なマスタープランを示していく。
・クラウドファンディング、ネーミングライツ、CSRなどを効果的に展開していく上では、民間事業者が参画することのメリットを感じ、より積極的に事業に関与したくなる環境づくりを行なう。
・特にCSR等に積極的に取り組む民間事業者にとっては、市民団体等との連携機会を模索する動きもあり、特徴ある活動を継続して行う市民団体等を育成するとともに、民間事業者との連携、マッチングを促進する仕組みや仕掛けを取り入れる。

さいたま水上公園のあり方検討委員会

<委員会名簿>

(敬称略、順不同)

委員長 輿水 肇	公益財団法人 都市緑化機構 代表理事 理事長
委員 池邊 このみ	国立大学法人 千葉大学大学院園芸学研究科 教授
委員 宮地 元彦	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 健康増進研究部長
委員 山中 丈士	一般財団法人 日本造園修景協会事務局長

<委員会開催状況>

第1回委員会(現地視察含む)

平成27年10月20日(火)	13:30~15:15	現地視察
	15:30~17:15	上尾運動公園会議室

第2回委員会

平成27年11月30日(月)	18:00~20:00	都道府県会館409会議室
----------------	-------------	--------------

第3回委員会

平成28年 2月22日(月)	9:30~11:30	埼玉県知事公館 会議室
----------------	------------	-------------